

Title	デニングの演説集
Sub Title	
Author	會田, 倉吉(Aida, Kurakichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1953
Jtitle	史学 Vol.26, No.3/4 (1953. 6) ,p.162(308)- 162(308)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19530600-0162">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19530600-0162</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

デニングの演説集

「傳仁演説集」と題する一四〇頁ばかりの本がある。北海道出身の雨倉干城が編輯をして、明治十九年六月二十二日東京銀座四丁目博聞社から出ている。

はじめに「錦心繡口、明治十九年七月」と書いた「正四位西周」の題字を載せ、ついで序に曰く、

デニング先生學博ク辭巧ミナリ日本ニ客遊スル既ニ十數年我國ノ事情ニ於テ通セサル所ナク傍ラ漢書ヲ讀ム是ヲ以テ其論スル所骨ヲ泰西ノ學ニ取り肉ヲ和漢ノ事跡ニ集ム到ルトコロ喝采ヲ博セシ所以ナリ予先生ニ羈食スル茲ニ數年講談演説常ニ必ス從フ今其一ニ取り編シテ一冊子ト爲シ傍ラ批點ヲ施シ名ツケテ演説集ト云フ而シテ其例一ナラス筆者ニ由リテ文章ノ體ト爲スアリ或ハ言辭ノ儘ヲ速記スルアリ今其意ノ通セサル所ヲ除クノ外自己ノ見ヲ以テ敢テ一言一語ヲ増減セス以爲ラク却テコレ讀者ニ於テ趣アラン乎而シテ先生ノ學博ク辭巧ミナル宛然タリ

明治十九年六月

雨倉干城識

と。以てデニングの學のほどがしのばれ、併せて編者とデニングとの關係もろかがえよう。

「傳仁」とはつまり明治初年わが國に來朝したイギリスの宣教師ウォルター・デニング Walter Denning の日本字名で、仙台青葉城

下にあるかれの墓碑にも「英國人傳仁之墓」とある。かれは半途僧籍を脱し、爾來「ジャパン・ガゼット」「ロンドン・タイムス」等の諸新聞にも一時關係はしたが、その生涯の概ねは教職に身を置き、或る時は文相森有禮の知遇を得て文部省に仕え、英語讀本の編纂にあたり、或る時は高等師範、學習院等の諸學校に教え、また海軍者に出仕して海軍の學校に語學教師となり、福澤諭吉と相知つて慶應義塾の教壇にも立ち、特に明治二十八年以降は前後十九年の長きにわたり、死去に至るまでずっと仙台の第二高等學校に奉職し、在職中大正二年十二月五日同地に歿した。現駐日イギリス大使マーバリー・エスラー・デニング郷は實にその令息である。

なお本書の内容は左の八編、しかも多く日本語で演説されたものらしい。

- 教育ノ至極ハ人類ノ特性ヲ開發培養スルニ在リ(大日本教育會常集會ニ於テ演説)
- 記性ノ培養(東京府教育談會ニ於テ演説)
- 假名ノ會總會ニ於テ演説
- 近世性理學ト教育學トノ關係(北埼玉部會第二回總集會ニテ演説)
- 道徳ノ教育(東京府教育談會ニ於テ演説)
- 勞佚ノ關係(大日本私立衛生會ニ於テ演説)
- 東洋ノ禮西洋ノ理(豊浦生ノ譯カ)
- 靈魂ト肉體ト緻密ナル關係ヲ論ス(第一回、第二回)

(會田倉吉)